

ヘルメットを着用しよう!

～自転車に乗るときはヘルメット着用で被害軽減を～



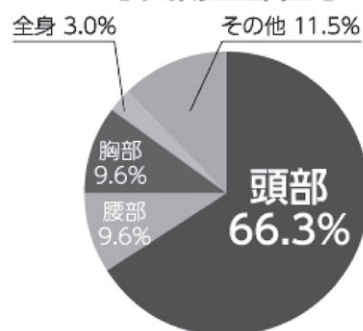
過去5年間(平成24年から平成28年まで)の愛知県内の交通事故死者のうち、自転車乗車中に亡くなった方は199名でした。そのうち、頭部を負傷して亡くなった方が約66%を占め、世代別では65歳以上の高齢者の方が約68%を占めています。

大切な命を守るため、子どもだけでなく、大人もヘルメットを着用しましょう。

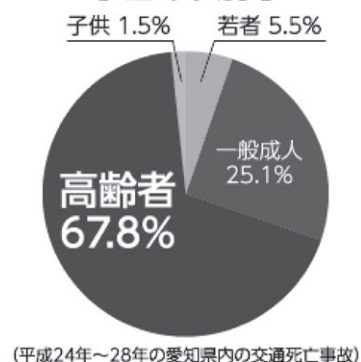
また、一時停止場所では必ず停止して安全を確認するなど、交通ルールを遵守し安全に利用しましょう。

自転車乗車中の交通事故死者の特徴

【負傷主部位】



【世代別】



自転車の保険に加入しよう!

近年、自転車事故で相手方を死傷させた場合に、高額な損害賠償を命じる判決が相次いでいます。被害者の保護を図るために、また、損害賠償責任を負ったときの経済的負担の軽減を図るために、自転車も保険に加入しましょう。

高額賠償事例

判決命令額 約9,500万円

神戸地方裁判所
平成25年7月判決

男子小学生が夜間、自転車で帰宅途中に歩行中の女性と正面衝突。女性は頭がい骨骨折で意識が戻らず、監督責任を問われた母親に賠償命令。



特集

愛知県では 交通事故が多発しています

4月27日現在、愛知県では61名の方が交通事故で亡くなっています。

本年の都道府県別事故死者数は全国で2位という順位ですが、愛知県は、過去15年連続ワーストワンという不名誉な記録を更新し続けています。一瞬にして尊い命を奪い、平和な暮らしを破壊する交通事故をなくすことは、私たち愛知県民の切実な願いです。しかしながら、多くの人々の努力にもかかわらず、交通ルールの違反やマナーの低下などを原因とする悲惨な交通事故は後を絶ちません。また、高齢歩行者の犠牲者が大幅に増加しています。交差点における事故やシートベルト非着用による死亡事故が高い割合で推移するなど、依然として厳しい状況が続いております。

都道府県別 事故死者数(年間)

1位	埼玉	69人
2位	愛知	61人
3位	千葉	60人
4位	兵庫	46人
5位	福岡	44人

(平成30年4月27日現在)

スローガン

ストップ・ザ・交通事故 ～高めようモラル 守ろうルール～

ストップ・ザ
交通事故 高めようモラル
守ろうルール

【サブスローガン】 広めよう交通安全スリーS運動

交通安全スリーS運動を展開して「思いやり」の輪を広げよう！

ストップ

赤信号はストップ、一時停止場所でストップ、飲酒運転をストップ

スロー

高齢者や子どもを見たら速度をスロー

スマート

運転中の携帯電話や急発進・空ぶかしをしないスマートな運転



※()内は、前年比(平成30年3月末現在)

		合計	死亡	重傷	軽傷
弥富市	件数	22 (+ 5)	0 (0)	0 (- 1)	22 (+ 6)
	人数	25 (+ 4)	0 (0)	0 (- 1)	25 (+ 5)
蟹江町	件数	21 (+ 7)	0 (0)	1 (0)	20 (+ 7)
	人数	33 (+12)	0 (0)	1 (0)	32 (+12)
飛島村	件数	14 (+ 1)	1 (+1)	1 (+1)	12 (- 1)
	人数	18 (0)	1 (+1)	1 (+1)	16 (- 2)